

ソーシャル・インパクト・ボンド セミナー

社会的インパクトの定量評価と新しい官民連携の社会投資スキームの構築へ

【と き】 2014年4月18日(金) 18時30分～20時15分

【と ころ】 滋賀大学大津サテライトプラザ (日本生命大津ビル4F)

【講 師】 伊藤健氏

(慶應義塾大学 大学院 政策・メディア研究科 特任助教)

■セミナーの趣旨

先進各国において、複雑化する社会的課題に対応するため、政府予算の生産性を高め、社会的成果に応じた予算配分を行う、成果ベースでのファイナンス・スキームの検討が進んでいます。

この中でも、特に、2010年に英国で発祥した「社会インパクト債権」(ソーシャル・インパクト・ボンド)は、官民連携での社会的投資スキームとして関心を集め、英国では児童養護施設、受刑者の社会復帰プログラム、若年失業等の社会課題に高い効率で対応する予防的プログラムへの社会投資として実施され、数十百万ポンド規模の発行規模となっています。

日本においても、少子高齢化や震災復興等の社会的課題に対して、どのように限られた公的なリソースで効果的な社会施策を実施するか、またそのためにどのように民間資金を活用するかが、社会課題の解決を図る社会インフラの構築への大きな課題となっています。

本セミナーでは、日本におけるソーシャル・インパクト・ボンドの第一人者である伊藤先生をお招きし、この新しいスキームのもたらす社会的意義、並びに自治体での導入可能性について、議論を深めます。

■伊藤健氏 プロフィール

米国Thunderbird Global School of Managementにて経営学修士課程を修了後、GE Internationalに入社。シックス・シグマ手法を使った業務改善や、コーポレート・ファイナンス部門で企業買収後の事業統合等を行う。勤務の傍ら、2005年よりソーシャルベンチャー・パートナーズ東京へパートナーとして参加。2008年にはGE社を退職、2010年までNPO法人ISL 社会イノベーションセンターの立ち上げと運営に関わる。2010年より慶應義塾大学政策・メディア研究科 特任助教。主に社会的インパクト評価を中心に研究。「ソーシャル・ファイナンス」「ソーシャル・ビジネスの商品開発とプロモーション」等の授業を担当。Asian Venture Philanthropy Network日本アドバイザー、特定非営利活動法人SROIネットワークジャパン 代表理事。

【参加費】 無料

※以下の申込み先までメールでお申し込みください。

【定 員】 50人

<<申込み・問い合わせ先>>

◆滋賀大学社会連携研究センター 畑中、石井

E-Mail : rccs@biwako.shiga-u.ac.jp

TEL : 0749-27-1141